

★バックナンバーの取り扱いについて

- ①2013年12月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL:03-3817-5666)にて承ります。
②それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。

株式会社東亜ブック

〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町5-27-11

TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539

2015年12月号



特集

パースレビューの心得

日本で広く行なわれているパースレビュー。助産師とともにお産をふりかえり、自身の体験を語りたい褥婦がいる一方で、それによって傷つく褥婦も存在します。本特集では、事例とエビデンスをもとに、助産師がパースレビューに取り組む際の心得を再考しました。

2015年11月号



特集

新しい視点で 保健指導を変えよう！

現在の保健指導は19年前の厚生省局長通知に基づいていますが、当時とは妊婦や家族の抱える課題が変化してきているため、見直しの必要性が出てきました。「親になること」と「いのちに向き合うこと」を支援する、新しい視点を取り入れた保健指導を特集しました。

2015年10月号



特集

「特定妊婦」にどうかかわる？ 助産師ができる支援とは

出産後の養育について、出産前からの支援が特に必要な「特定妊婦」。本特集では、その概念と必要な対応、助産師による実際の支援の様子を紹介しました。妊娠前から、医療機関が保健・福祉と連携して支援することで、児童虐待の防止にもつながります。

2015年9月号



特集

効果的な実習指導をしよう！ 学校とともに学生を支援する

教えられる学生はもちろん、教える実習指導者も多くの学びを得ることができる助産学実習。本特集では、効果的な実習指導を行なうための実習指導者の心得をお伝えします。また、学生を送り出す学校側、学生を受け入れる施設側双方の取り組みも紹介します。

2015年8月号



特集

妊娠高血圧症候群 2015 知識と支援をアップデートしよう！

近年、高齢出産の増加に伴い、妊娠高血圧症候群への対応が重要になってきています。本特集では、妊娠高血圧症候群の基礎知識や最新のエビデンスのほか、助産師による早期発見や予防教育の方法、軽症・重症別の妊産褥婦へのかかわり方を紹介します。

2015年7月号



特集

助産師が専門職として かわるべき母乳育児支援 「寄り添う」とはどうすることか

母乳育児を希望する母親は増加しているものの実数には結びつかず、正しい情報が届いていない印象を受けます。そこで、「寄り添う」という言葉に注目し、母乳育児を選択する母親を増やすための、具体的な支援を考える特集としました。

2015年 特集

6月号 地域でつくる妊娠から育児までの切れ目ない支援 今、注目の日本版ネウボラとは

5月号 女性が主体的に産むための助産ケア

4月号 産婦の身体の声をきく アセスメント能力を高めよう

3月号 ペリネイタル・ロスのケアを考える

2月号 助産師がしっかり実施したい新生児蘇生法(NCPR)

1月号 少子化、分娩施設の集約、就業場所の偏在 etc.から 助産師のよりよい未来像を描く！

2014年 特集

12月号 キャリアを積むということ 助産師としての私の働き方